

また、私は、この一年の活動の中に置いて、学校教育や子育てに関する様々な今日的課題に向き合う機会を数多く経験いたしました。その課題が何であるかは別として、辿り着くところは、子どもたちへの躾け、生活習慣、社会規範意識などについて、家庭の役割が十分に果たされていないということが多くあるのではないかと考えさせられたことです。（もちろん、家庭による差異はあります）以上のことを考えても、子どもたちに向けて働きかけるばかりではなく、私たち大人自分が変化を求められていることは明らかなことのような気がしています。人間はどうしても煩わしいことを避けたがることは当然ではありますが、今一度PTAの意義を共有し、各々の立場でその役割を自覚し、粘り強い議論と積極的な行動が必要な時なのではないでしょうか。

大人が変われば、必ず子どもたちが変わると信じたいところです。



旭川市PTA連合会会長  
大 垣 宏

# 大人が変われば

# 連 だ よ り

事務局

川市6条5丁目

## 母親研修会「ホツとしよう」と 二 shin 時間 らありま ソニ

TEL 2312916  
FAX 2312917 番

卷之三

感じております。

「高の抗がん剤」では、激しい闘病生活を生き抜いた経験からじみでる言葉や笑いに、心に響く強いメッセージが伝わってきました。

本研究大会が、今後の我々PTAの活動にひとつでも参考になれば幸いと思います。

最後に、本研究大会の開催にあたりご臨席賜りましたご来賓の皆様、また各部会において貴重なご講演、ご助言をいただきました関係各位、そして大会運営にご尽力いただきました理事の方々および主幹校の東明中学校PTAの皆さんに厚く感謝申し上げます。

また、今年度は初めて参加の方にアンケートをとらせていただきましたので、来年度に反映したいと思います。

本研究大会が、今後の我々PTAの活動にひとつでも参考になれば幸いと思います。

月十九日（土）神楽公民館で二百名を超える参加にて二十五回目の母親研修会を開催いたしました。子どもと向き合うために必要なことの一つに、私たち自身が元気になり、笑顔でいる時間を大切にすることが大事ではないかという考え方から体验型研修会を取り入れています。このような研修会は全道でも珍しいそうです。

今年度の研究テーマは「ホッとしたようよくなな時間もありました」とし、忙しい毎日を過ごしている皆さんに充実した時間を提供でけるようにと母親委員が心をこめて企画いたしました。

神楽公民館にはフラダンスの音楽が流れ、お料理の良い香りが漂い、コミュニケーションを学ぶ教室からは楽しそうな笑い声が悲鳴のように聞こえていました。参加者 講師 母親委員が一体となり私たちが思う様な笑顔があふれる研修会とななりました。

# 旭川・都城

小山英朋

今年度の（第一二三回）旭川・都城児童生徒国内交流事業は、旭川市六名、都城市

いて、旭川市立聖園中学校 三栖校長先生のご協力をいただき、「今、家庭で子どもたちの自主性や社会性をつけるためにできること」をテーマに部会を持ちました。この部会では、グループ討議を行い、子どもたちの家庭・学校での様子の違いなどを伺いました。この事業に関わり、それぞれの保護者の皆様の熱い思いというものを強く感じさせられました。

最後になりますが、部員の皆様には昼夜惜しまず、P.T.A.の代表として事業を推進していただきありがとうございました。今後もP.T.A.会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

れぬ」ともあつたが、とても難しく過わしきことがあつた。  
今年度の冬休暇入も、「冬休みと申してあるが」と題し、一月  
八日～九日一泊二日で都城市の子どもたちとの交流を旭川市の子  
どもたちに呼びかけたところ、二十七名の参加がありました。（参  
加希望者が多く、お断りするほどでした。）国内交流に参加の児  
童も加わり、総勢四十名で深川市の道立青年の家に宿泊し、体育  
館でミニ運動会やゲームをして交流を深めました。「田舎は「ア  
グリエラ房がある」でパン作りの実習をしました。  
また、今年度も夏季交流事業では、旭川市P-TA連合会のホー  
ムページ（事務局ブログ）に子どもたちの様子を載せました。保  
護者の皆様方からは、「子どもが今、何をしているのかが分かり

れぬ」ともあつたが、とても難しく過わしきことがあつた。  
今年度の冬休暇入も、「冬休みと申してあるが」と題し、一月  
八日～九日一泊二日で都城市の子どもたちとの交流を旭川市の子  
どもたちに呼びかけたところ、二十七名の参加がありました。（参  
加希望者が多く、お断りするほどでした。）国内交流に参加の児  
童も加わり、総勢四十名で深川市の道立青年の家に宿泊し、体育  
館でミニ運動会やゲームをして交流を深めました。「田舎は「ア  
グリエラ房がある」でパン作りの実習をしました。

また、今年度も夏季交流事業では、旭川市P-TA連合会のホー  
ムページ（事務局ブログ）に子どもたちの様子を載せました。保  
護者の皆様方からは、「子どもが今、何をしているのかが分から

## 「アロシク活動」について

「旭川市P-TA連合会」の組織は、地域ごとに八つのブロックに分かれて活動がなされています。今回もそれぞれのブロックにおいてどのような活動がなされているか紹介させていただきます。

本年度の新永地区役員研修交流会は、平成二十一年十一月十四日（土）、トヨーホテルにおいて、講師に旭山動物園園長坂東元氏を迎え、「伝えるはいのちの輝き」と題して行されました。

新永地区の各単位PTAより多くの役員の参加をいただきました。連合会の大垣会長にもご出席いただき、ご挨拶をいたしました。

ただくことができました。

坂東園長の実際の体験を元に、園長の親しみやすい語り口で、職員と動物との関係性や動物の持つ特性などについて、実例に基づいて、映像などを用い、分かりやすく講演され深い感銘を受けました。特に、動物の持つ特性、動物同士の関係性を、私たちの子育てや人間関係に重ねて

位PTAの役員同士が親しく自己紹介をし、各種ゲームなどで盛り上がり、単位PTAの具体的な活動を話し合い、交流を図ることができました。また、一月十九日（火）には、西

彦氏を迎え『負からの逆転』と題し講演をしていただきました。遠藤氏は平成十六年から平成十八年まで駒大苫小牧高校野球部に帯同し、戦略・分析、特にメンタル部分でのサポートをし、同校全国制覇の立役者として有名な方です。講演の冒頭、マジックジョンソンが里人の子供たちに送った言葉から始まり、楽天の田中将大選手の話を軽くしたあと駒大野球部もう一人の名選手、日本ではなくメジャーリーグの道を選んだ鷺谷修也氏

## 【南部ブロック教育講演会】

南部ブロック  
石突伸夫(東明中)・上山義和  
西田千代子校長 ● 仁田小学校 ● 美里中学校  
高木小学校 ● 沢井第一小学校  
西川第三小学校 ● 第六小学校  
高橋中学校 ● 長沼中学校  
東方中学校 ● 西川第三中学校

北部ブロックでは、七月三日（金）に市内花月会館において「ブロックの年間活動の概要・講演会について又各単位PTAの活動の様子を交流しました。続いて行なわれた懇親会では、各単位PTAの個性的でユニークな自己紹介もあり、互いに打ち解け楽しい雰囲気の中で、今後のブロック活動の協力を確認しあいました。協議会は3回、臨時協議会1回の開催です。

講演会は、七月二十三日（木）近文第一小学校体育館において「インターネットと安全教室」という演題で、講師に旭川情報産業事業協同組合 秋元修氏を招き、講演とビデオ等を使い、大変わかりやすく、インターネットをきちんと使えばとても便利で生活の一部に、これから必要になるものだと思いました。又最後に自宅に帰つてからも、忘れない様にと小冊子とDVDを参加者全員に配布して頂き、とても充実した講演会になり、会員相互の親睦を深めることができます。

方を追い勉強百分百で、それが何よりも大切だ。しかし、それが何よりも大切だ。しかし、それが何よりも大切だ。

〔東部プロック懇親会〕

東部プロックでは、九月八日（火）に東部地区七校より四十九名が参加し、プロック懇親会を開催しました。各単位 PTAによるユニークな自己紹介から始まり、それぞれのPTA活動の様子を交流し合いました。互いにうち解け、和気あいあいとした雰囲気の中で、今後のプロック活動への協力を確認できました。

〔東部プロック研修会〕

今年度の研修会は、プロック主管校である愛宕東小学校PTAとの共催で、教育講演会を開催しました。十月二十七日（火）、愛宕東小学校体育館を会場に、『植松

松 努氏（植松電機専務取締役・カムイ

くいただきました。そして、生々しい内容ではあります、「直接子どもたちに講演を計画しても良いのではないか」といった提案も寄せられました。なぜなら無知である子のほうが、知識のある子よりも被害者数が上回るという統計があるからです。

同じ年頃の子どもを持つ保護者が一同に会して、共通の問題点について考える機会は、そう多くはありません。是非、来年度以降も有意義な講演会が続いていかれることを祈念申し上げ、報告とさせていただきます。

は、冷たい雨の降りしきる中、約九十名の参加をいただき、青少年の非行に直接結びつくサイトの具体例や、そのアクセスマethodまた、少年少女を巧みに誘導する手口などを、具体的に紹介していただきましたとともに、裏サイトの実態や子どもたちのいじめの現況について詳しく解説をしていただきました。受講者から見て衝撃的な内容に、「子を持つ親としての苦悩が東北、無印、ヨーロッパの市町を訪

ベースワーク代表取締役社長】を講師にお招きして、「思いは招く夢があれば何でもできる」と題したご講演を行なっていただきました。「本当の未来は、やつてみたいことやすべきことをどうやつたらできるのかを考え、やり始めることがらしか到達することはできない。」「『ばせ無理!』から『やつたらこうしてたら!』へ大人の考え方を変えると子どもは変わる。」「中途半端だつて、何もないよりずっといい。」植松氏の熱意が会場全体を包み込み、大変有意義な研修会となりました。

十月十六日（金）にブロック親睦交流会を開催いたしました。今年度も、二部に分けて、第一部をボーリング大会、第二部を懇親会として実施いたしました。

当初予定していた会場の旭川スカイレンが、何の連絡や予告もなく突然閉店し、開催が危ぶまれましたが、担当の雨紛小学校の迅速な対応のおかげで予定通りの日時に開催することができました。

第一部はディノスボーリー旭川で、参加

ピンを狙い、ストライクや好プレーに貸切の会場は拍手や歓声が響きました。二ゲームが終わつて参加者は心地よい汗を流しました。

第二部は、会場を移し、八十一名が参加して懇親会を行いました。会の中ではボウリング大会の成績発表と、単Pごとに持ち寄った賞品の授与が行われ、会場は土引き盛り上がりました。各テーブルでは自校のPTA活動の様子について情報交換が行われたり、家庭での子育てについて話の輪が広がるなど、これから活動につながるすばらしい懇親会でした。

【中央プロック交流会】

中央プロックでは、今年度、プロック会員の親睦を深めるために、十一月七日（土）に交流会を開催しました。交流会は、第一部と第二部に分けて行いました。第一部は、ディノスボウル旭川を会場に、六十七名が参加してボウリング大会を実施しました。試合は各単Pごとに二チームに分かれ、チーム対抗で成績を競い合いました。各チームとも真剣な眼差しで

みどからしいの講演会を開催いたしました。今年度も、二部に分けて、第一部をボーリング大会、第二部を懇親会として実施いたしました。

当初予定していた会場の旭川スカイレーインが、何の連絡や予告もなく突然閉店し、開催が危ぶまれましたが、担当の雨紛小学校の迅速な対応のおかげで予定通りの日時に開催することができました。

第一部はディノスボール旭川で、参加者五十一名による各校対抗ボーリング大戦とし、一人、二ヶ



旭川市立東町小学校 P.T.A  
旭川市立愛宕中学校 P.T.A

次年度の主な日程

- 旭川市P.T.A連合会
- 旭川市P.T.A連合会定期総会 五月八日(土)
- 旭川市P.T.A母親研修会 九月十一日(土)
- 市・市教委との教育懇談会 十月十五日(金)
- 旭川市P.T.A研究大会 十一月二十八日(日)
- 全日本P.T.A研究大会おは大会 八月二十七日～二十八日
- 北海道P.T.A研究大会後志・余市大会 九月十八日～十九日

地が書の文は人持ツレ移動

○推薦 第十七回全道PTA広報紙コンクール

・北海道中学校長会賞  
旭川市立旭川中学校PTA

・北海道公立学校教頭会賞  
旭川市立東五条小学校PTA

・北海道PTA安全互助会賞  
旭川市立陵雲小学校PTA

○審査員特別賞  
旭川市立日章小学校PTA

○奨励賞

胆田市立西側斗小学校PTA